

元遊軍軍人未處理者調署

[illegible]

豪族の承知されてゐる情況

本人からの最後の手紙に就いて加記入下さい	星出日附 (年 月 日) 郵便符號 () 受取年月日 (年 月 日) 後開封印 () 内容 { 封し }	(一) 師殿最から何か通 知がありましたか (二) 帰還前から何か通 知がありましたか (三) 自ら他方と二三次 以上ありましたらぞ れを密に通知した 人の住所氏名を告げ て下さい	
家族遺愛物の柄紙と取扱つてある経理部を添えて下さい	家族遺愛物 二回貰った(自用)	其の他本人の消息を 知る為に必要な事 ことを書いて下さい	

歸還者からの情報（贈還者の方以本例に求めた贈還者個人に対すること）

[illegible]

死後者調書

右二同

白蟻虎尾航空隊司令官遺骸一二八中隊市三中队

整備兵

海軍整備

海軍兵官長

航空整備

昭和五年六月二日

爆風子戦死

赤川縣

211 21

昭和二十年八月十日
 台中州豊原ニテ防空壕送集中心爆風ニテ斃死又
 戦病死

台中州豊原ニテ防空壕送集中心爆風ニテ斃死又

死生師の決

人
 整備兵長氏

右ニ同じ

虎尾航空隊台中分遣隊イ一八中隊和二中隊

右の如き対してあるから中隊致し

昭和二十年八月十日

23年8月11日発表

52217

52217

死後者 親書

本籍地

現住所

所屬部隊

入国年月日

出陣年月日

戦死年月日

戦死場所

戦死原因

戦死時年齢

戦死時階級

戦死時部隊

戦死時武器

戦死時状況

アノバニ特別陸戦隊

昭和十六年十月六日 戦死 應召 兵種 機関兵

上級曹

昭和十六年十月五日

昭和十六年十月五日

アノバニ特別陸戦隊 戦死 應召 兵種 機関兵

昭和十六年十月五日

昭和十六年十月五日

昭和十六年十月五日

昭和十六年十月五日

昭和十六年十月五日

160 152

右 中 一 書 人

昭和二十一年四月五日

本籍地

現在所

所属部隊

氏名

特設防衛綱要下松丸

官等級

重宝等号兵管

籍番号

備考

(一)

(二)

(三)

(四)

(五)

(六)

(七)

(八)

(九)

(十)

本調書ハ初隊長又ハ後隊長者等其他の後方局人等初隊長
通報スベキ責任者ニ於テ知得事スルニ付記載ス

吳鎮在籍時務士官准士官下士官其ニ付記載ス

同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス

知得事スル範圍ニ於テ未得ル限リ詳細ニ記載ス

他人ヨリ得ル事知ル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス

終

附一四

元海軍軍屬未處理者調書

(沖縄、大島用)

整理番號 明 360

留守担当者	又派遣元船名	身分	氏名	生年月日	本(現)住籍	所在地
工員	工員	氏名	氏名	氏名	縣 市 町 村	村 町 市 縣
家族の承知されてゐる情況	内地出發年月日、場所、船名、行先がわかりますなら書いて下さい	家族受領の情況と取扱がつてゐる経理部を書いて下さい	一、部隊長から何か通知がありましたか 二、歸還者から何か通知がありましたか 三、其の他のどこから何か通知がありましたか 以上ありましたら、それを書いて通知した人の住所、氏名を書いて下さい	其の他本人に就いて参考になることを書いて下さい		
職名	志願、僱用、現地採用又は徴用年月日及部隊名 (船員は船名及船主)	外勤勤務の部隊名及場所	差出日附()年()月()日 部隊符號() 受領年月日()年()月()日 檢閲者印()	内容		

歸還者からの情報 (歸還者の方は本欄に未歸還者個人に對する情報を記入して下さい)
 未歸還者個人に對する情報 (自分の屬してゐた部隊の情報を記入して下さい)

未歸還者個人に對する情報		歸還者からの情報	
情報提供者	部隊身分氏名	部隊身分氏名	部隊身分氏名
同右現住所			
本人とは何處で何時から何時迄一緒に居たか別れる時の本人の状況はどうでしたかそれを本欄に記入して下さい			
戦死者でしたらその状況を本欄に記入して下さい			
死亡か病死なら病名を記入して下さい			
行方不明か逃亡者ならばその状況を記入して下さい			
他に本人の情報をよく知つてゐると思はれる方の住所氏名を記入して下さい			
備考			

歸還者の屬してゐた部隊の情報
 この欄には所屬部隊の行動、戦闘状況 (艦船事故ならその状況を詳しく書いて下さい)
 (特に場所、年月日を洩さない様にして下さい)

敵艦と衝突し、沈没。乗組員は救助され、捕虜となつた。その後、戦場から解放され、日本に帰還した。

22 氏名
 1946.6.14 戦死 (認定)

123-10

現況不明者消息調查依頼票（二一年八月六日）

吳地方糧蕘局人事部

[illegible]

(一) 戰況は行方不明年月日及び其の場所又は地域を明確に知得たるものなるは、場合を推定するも、結構を要する。智めて、記註してよいものなり。

(二) 消息を確知するものは、他人から得たる知得事項であるも必ず記註してよいものなり。

(三) 本書以外に、戦況公表未済者、御存じの際は、追記して下さい。

(四) 各市、県地方、後援局、人事部、履歴、宛送送下さい。

第六號ノ六

滋賀地方世話部第二復員課

生存者 戰死者 確認報告

報告者ノ當時ノ所轄(部隊名)

沖繩根拠地司令部

報告者ノ官職氏名(電報符入籍番號)

海軍機關兵長

()

報告者ノ本籍地及ビ現住所

所轄官職氏

名

電報符又ハ入籍番號

出身地

生存又ハ戰歿區分

年月日時

場所

状況

状況

沖繩中尉

[Redacted]

[Redacted]

戦死 20612 沖繩小祿

自決

182-10

[illegible]

疏本 1094

張士一 自序

元海軍軍人未復員者調查票

[illegible]

56253

本 籍 地	現 住 所	所 屬 部 隊	入 籍 年 月	官 等 職	內地 港 澳 出 發 年 月 日	外 地 到 港 年 月 日	勤 務 ／ 概 要	發 病 受 傷 （ 年 月 日 ）	病 名 （ 受 傷 部 位 ）	發 病 （ 受 傷 ） 又 八
			昭和十九年三月	主 主	昭和十九年八月十日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年六月十三日	右大腿部砲彈貫通創	右大腿部砲彈貫通創

死 災 者 調 査

戸
係
4.22

186

死亡年月日時刻及場所

昭和二十一年六月五日午後九時四十分東京市荒川区

右申付

昭和二十一年六月十五日

氏名	所屬部隊	現住所	本籍地
長谷川 昌雄	東京市荒川区	東京市荒川区	東京市荒川区
入部番号	二五〇〇		

備考

①本調査ハ各隊長又ハ機務取扱者等ニ於テ吳知方復員局人事部長宛通報シ非スト部
 ②吳知在場ノ特務士官、准士官、下士官、兵ニ付記載ス
 ③同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
 ④知得シアル範圍ニ於テ出來得ル限リ詳細ニ記載ス
 ⑤他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該門ニ相手方ヲ記載ス
 ⑥送付先

吳市

吳知方復員局人事部長宛

德島 香

6273

終 結 書 分	二、段調査以後において 家族の入手している情 報	組乗有個 乗 便		故事とよに船艦		助行一周と者別不況現 助行別と者別不況現		現況の年報助行	
		五、事故の原因及びその年月日 (空襲、潜水艦、砲撃) 六、事故発生時の位置及び被害の状況 七、救助の状況		四、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数 三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 (ロ) 寄港地及び年月日 二、行先		八、歸還の状況 七、終戦後の状況 六、終戦時の状況 五、交戦(被害)の状況 四、空襲 三、同部隊名 二、同部隊名 一、同部隊名		三、同部隊名 二、同部隊名 一、同部隊名	
(空)	佐世保入用業務課にて制定	本人の消息をよ く知つておる 住居氏名		本人の消息をよ く知つておる 住居氏名		本人の消息をよ く知つておる 住居氏名		本人の消息をよ く知つておる 住居氏名	
(不)	世話費(葬)にて制定	昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日	
(生)	世話費(葬)にて制定	昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日	

証 明 書

第三號變幸丸操機長

同

操機手

(元)海軍少屬

別紙ノ通戰病死セラル候ニ

付キ

右御證明申上候也

昭和二十一年三月十八日

戰病死情報

第三陸軍愛幸九機機長

同

機機手

一、大島防備隊徵用船第三十五號愛幸九機組員元海軍少尉

甲板長

昭和二十一年六月十八日十四時大島防備隊

艦底ニ於米機クラン四機ノ數回ナル爆轟ヲ受ケ右足切斷左

足重傷同隊病院ニ於テ予當中七月十三日四時戰病死セリ

七月十三日十時同病院附近ニテ火葬七月十五日大島防備隊イ號

潜水艦ヲ待テ予佐世保人事部ニ御送附致ス候

昭和二十一年三月十八日

本 書 題	著 者 所	刊 行 年 月	刊 行 日	刊 行 月	刊 行 日	刊 行 月	刊 行 日	刊 行 月	刊 行 日
[Redacted]	卷之二同記	振世傳錄府無泊擊命隊東即孔	昭元九一	一學水兵	昭元九一	昭元九一	昭元九一	昭元九一	昭元九一
[Redacted]	吳二國民兵使	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

72

死
改
用
調
書

三十七日校曲



一、其、學、正、施、夫、ハ、所、應、ノ、術、弄、工、習、ハ、在、中、官、ノ、官、工、書、令、及、平、居、ニ、ハ、記、載、ス
 二、知、得、シ、ア、レ、範、圖、ニ、於、テ、出、不、解、レ、得、リ、研、知、ハ、記、載、ス
 三、他、人、ヨ、リ、多、キ、ア、水、和、シ、タ、レ、事、項、ハ、各、其、機、機、ニ、記、載、ス、カ、リ、記、載、ス
 四、知、得、シ、ア、イ、項、目、ニ、テ、イ、テ、ハ、記、載、シ、タ、ク、ア、ハ、ヨ、イ
 五、此、等、老、年、地、方、特、費、荷、人、等、皆、也

②

現況不明者究明調書

(調査期日 7月 7日 場所 鶴岡)

姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名
60日五十一警二曹				[Redacted]
出身府縣	所管復員局	方	面	大経帯號・軍属は混雑元
[Redacted]	二・横・吳・佐・	千	島	
備考	五十一警二曹・国自軍進の爲に人令傳變外五十六隻の船中に乗 海防軍艦隊の如く此片岡海軍に出発した。八ヶ敷警二曹は傳變 死に就き生存者は五十一警二曹に救助され再び片岡に戻され此の如く が目的と同じく傳變死に便乗した。君は生存者の中に現存する水 兵の後半時に避難者の合同隊となり何れも多数の多く名前が 覚えられし方が此の君は其の時戦死若くは入隊して居る事不明 達しなれと自れが思ふ (此ク下同項死体作千島に警署法に之 事を知りてゐる) 下記二名は記事同防死			
申告者	家族	住	所	氏名
	復員者	住	所	氏名
			部隊等級 分ノ警 二曹	[Redacted]
調査官	世話課			
所見	解説	戦死認定手當と認めらる 但し [Redacted] の記事出所について調査を要す		

鶴岡地方復員残務處理部

昭和二十一年七月

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し (鉛筆書にて可) 制復員人に送付する
3. 乙號……制復員人にて甲號により三通調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通 (復員局經由) } 送付する
4. 添付は制復員人で記入する

168

②

舞鶴地方復興務處理部

6284

現況不明者究明調書 (調査期日 7月 7日 場所 鶴岡)

姓名	名簿索引部	隊	等級・肩分	氏	名
6/日	五十一警	=	曹	[Redacted]	[Redacted]
出身府縣	所管復員局	方	面	入籍番號・軍屬は紙綴元	
[Redacted]	二・横・見・佐・[Redacted]	千	島		
申告書	五十一警事=同目報連の為スルハ、今博愛丸外五、六隻ヲ捕獲シテ海防艦隊等ノサトニ片岡君ヲ出港シタル里ノハ敵雷撃ヲ受リ博愛丸沈没生存者ハ五十一警事ニ救助コレガ片岡ノ夫ナリトテ其自去ト同様に博愛丸便乗シテ [Redacted] 君ハ生存者中に見當ラレタリ其の後片岡ト建請者ノ合同等々マツル何レモ免致カタク名前ハ覺えられガツたガ [Redacted] 君モ其の時ノ戦死者に入リ居事ハ附連ナク [Redacted] 見当以下記四名ハ記事同様ナリ 上曹 [Redacted] [Redacted] 上中 [Redacted] = 曹 [Redacted]				
家族	住	所	種別	氏	名
復員者	住	所	種別等 6/日 =	氏	名
世帯主	[Redacted]				
調査官	[Redacted]				
所見	戦後誕生五富、認メ U				

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵便入に送付する
3. 乙號……郵便入にて甲號により三通調製。
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通（復員局経由） } 送付する
4. 寮福は郵便入で記入する

①

現況不明者究明調書 (調査期日 7月7日 場所 鶴岡)

姓	名	部	隊	等	級	身	分	氏	名
6/1	五十一	警	水	長					
出身	府	縣	所	管	復	員	局	方	面
					二	復	員	局	千島
申告事項	五十一警第一團日戦後、6.18博愛丸外五十六隻の船団が海に沈没した。片岡瑞幸は、6.18夜千島四院で敵軍と遭遇し、博愛丸に救助された。他の船も大分沈没した。生存者は五十一警第一團に救助された。自分も同じ博愛丸に乗った。生存者中に見当りつかなかった。生存者は救助後、又片岡に戻り、其の後同地で避難者の合同葬儀を行った。陳の霊と会った。確かに見たので、戦後は間違いない。これは、同年春であり、同郷人であり、又同期に在る。これ同部隊に所属、これに關係、自分も親しい。いすである。								
家族	住	所	職	柄	氏	名			
復員者	住	所	部隊等級	氏	名				
調査官	お 戦後五當認めらる								

洋人 朝鮮地方 残務處理部

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號一… 總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵復人に送付する
3. 乙號三… 郵復人にて甲號一より三通調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
局世話課へ一通（復員局經由）
※ 送付する
4. ※ 簡は郵復人で記入する

58

1. $\frac{1}{2}$ 2. $\frac{1}{3}$ 3. $\frac{1}{4}$ 4. $\frac{1}{5}$ 5. $\frac{1}{6}$ 6. $\frac{1}{7}$ 7. $\frac{1}{8}$ 8. $\frac{1}{9}$ 9. $\frac{1}{10}$ 10. $\frac{1}{11}$ 11. $\frac{1}{12}$ 12. $\frac{1}{13}$ 13. $\frac{1}{14}$ 14. $\frac{1}{15}$ 15. $\frac{1}{16}$ 16. $\frac{1}{17}$ 17. $\frac{1}{18}$ 18. $\frac{1}{19}$ 19. $\frac{1}{20}$ 20. $\frac{1}{21}$ 21. $\frac{1}{22}$ 22. $\frac{1}{23}$ 23. $\frac{1}{24}$ 24. $\frac{1}{25}$ 25. $\frac{1}{26}$ 26. $\frac{1}{27}$ 27. $\frac{1}{28}$ 28. $\frac{1}{29}$ 29. $\frac{1}{30}$ 30. $\frac{1}{31}$ 31. $\frac{1}{32}$ 32. $\frac{1}{33}$ 33. $\frac{1}{34}$ 34. $\frac{1}{35}$ 35. $\frac{1}{36}$ 36. $\frac{1}{37}$ 37. $\frac{1}{38}$ 38. $\frac{1}{39}$ 39. $\frac{1}{40}$ 40. $\frac{1}{41}$ 41. $\frac{1}{42}$ 42. $\frac{1}{43}$ 43. $\frac{1}{44}$ 44. $\frac{1}{45}$ 45. $\frac{1}{46}$ 46. $\frac{1}{47}$ 47. $\frac{1}{48}$ 48. $\frac{1}{49}$ 49. $\frac{1}{50}$ 50. $\frac{1}{51}$ 51. $\frac{1}{52}$ 52. $\frac{1}{53}$ 53. $\frac{1}{54}$ 54. $\frac{1}{55}$ 55. $\frac{1}{56}$ 56. $\frac{1}{57}$ 57. $\frac{1}{58}$ 58. $\frac{1}{59}$ 59. $\frac{1}{60}$ 60. $\frac{1}{61}$ 61. $\frac{1}{62}$ 62. $\frac{1}{63}$ 63. $\frac{1}{64}$ 64. $\frac{1}{65}$ 65. $\frac{1}{66}$ 66. $\frac{1}{67}$ 67. $\frac{1}{68}$ 68. $\frac{1}{69}$ 69. $\frac{1}{70}$ 70. $\frac{1}{71}$ 71. $\frac{1}{72}$ 72. $\frac{1}{73}$ 73. $\frac{1}{74}$ 74. $\frac{1}{75}$ 75. $\frac{1}{76}$ 76. $\frac{1}{77}$ 77. $\frac{1}{78}$ 78. $\frac{1}{79}$ 79. $\frac{1}{80}$ 80. $\frac{1}{81}$ 81. $\frac{1}{82}$ 82. $\frac{1}{83}$ 83. $\frac{1}{84}$ 84. $\frac{1}{85}$ 85. $\frac{1}{86}$ 86. $\frac{1}{87}$ 87. $\frac{1}{88}$ 88. $\frac{1}{89}$ 89. $\frac{1}{90}$ 90. $\frac{1}{91}$ 91. $\frac{1}{92}$ 92. $\frac{1}{93}$ 93. $\frac{1}{94}$ 94. $\frac{1}{95}$ 95. $\frac{1}{96}$ 96. $\frac{1}{97}$ 97. $\frac{1}{98}$ 98. $\frac{1}{99}$ 99. $\frac{1}{100}$ 100. $\frac{1}{101}$ 101. $\frac{1}{102}$ 102. $\frac{1}{103}$ 103. $\frac{1}{104}$ 104. $\frac{1}{105}$ 105. $\frac{1}{106}$ 106. $\frac{1}{107}$ 107. $\frac{1}{108}$ 108. $\frac{1}{109}$ 109. $\frac{1}{110}$ 110. $\frac{1}{111}$ 111. $\frac{1}{112}$ 112. $\frac{1}{113}$ 113. $\frac{1}{114}$ 114. $\frac{1}{115}$ 115. $\frac{1}{116}$ 116. $\frac{1}{117}$ 117. $\frac{1}{118}$ 118. $\frac{1}{119}$ 119. $\frac{1}{120}$ 120. $\frac{1}{121}$ 121. $\frac{1}{122}$ 122. $\frac{1}{123}$ 123. $\frac{1}{124}$ 124. $\frac{1}{125}$ 125. $\frac{1}{126}$ 126. $\frac{1}{127}$ 127. $\frac{1}{128}$ 128. $\frac{1}{129}$ 129. $\frac{1}{130}$ 130. $\frac{1}{131}$ 131. $\frac{1}{132}$ 132. $\frac{1}{133}$ 133. $\frac{1}{134}$ 134. $\frac{1}{135}$ 135. $\frac{1}{136}$ 136. $\frac{1}{137}$ 137. $\frac{1}{138}$ 138. $\frac{1}{139}$ 139. $\frac{1}{140}$ 140. $\frac{1}{141}$ 141. $\frac{1}{142}$ 142. $\frac{1}{143}$ 143. $\frac{1}{144}$ 144. $\frac{1}{145}$ 145. $\frac{1}{146}$ 146. $\frac{1}{147}$ 147. $\frac{1}{148}$ 148. $\frac{1}{149}$ 149. $\frac{1}{150}$ 150. $\frac{1}{151}$ 151. $\frac{1}{152}$ 152. $\frac{1}{153}$ 153. $\frac{1}{154}$ 154. $\frac{1}{155}$ 155. $\frac{1}{156}$ 156. $\frac{1}{157}$ 157. $\frac{1}{158}$ 158. $\frac{1}{159}$ 159. $\frac{1}{160}$ 160. $\frac{1}{161}$ 161. $\frac{1}{162}$ 162. $\frac{1}{163}$ 163. $\frac{1}{164}$ 164. $\frac{1}{165}$ 165. $\frac{1}{166}$ 166. $\frac{1}{167}$ 167. $\frac{1}{168}$ 168. $\frac{1}{169}$ 169. $\frac{1}{170}$ 170. $\frac{1}{171}$ 171. $\frac{1}{172}$ 172. $\frac{1}{173}$ 173. $\frac{1}{174}$ 174. $\frac{1}{175}$ 175. $\frac{1}{176}$ 176. $\frac{1}{177}$ 177. $\frac{1}{178}$ 178. $\frac{1}{179}$ 179. $\frac{1}{180}$ 180. $\frac{1}{181}$ 181. $\frac{1}{182}$ 182. $\frac{1}{183}$ 183. $\frac{1}{184}$ 184. $\frac{1}{185}$ 185. $\frac{1}{186}$ 186. $\frac{1}{187}$ 187. $\frac{1}{188}$ 188. $\frac{1}{189}$ 189. $\frac{1}{190}$ 190. $\frac{1}{191}$ 191. $\frac{1}{192}$ 192. $\frac{1}{193}$ 193. $\frac{1}{194}$ 194. $\frac{1}{195}$ 195. $\frac{1}{196}$ 196. $\frac{1}{197}$ 197. $\frac{1}{198}$ 198. $\frac{1}{199}$ 199. $\frac{1}{200}$ 200. $\frac{1}{201}$ 201. $\frac{1}{202}$ 202. $\frac{1}{203}$ 203. $\frac{1}{204}$ 204. $\frac{1}{205}$ 205. $\frac{1}{206}$ 206. $\frac{1}{207}$ 207. $\frac{1}{208}$ 208. $\frac{1}{209}$ 209. $\frac{1}{210}$ 210. $\frac{1}{211}$ 211. $\frac{1}{212}$ 212. $\frac{1}{213}$ 213. $\frac{1}{214}$ 214. $\frac{1}{215}$ 215. $\frac{1}{216}$ 216. $\frac{1}{217}$ 217. $\frac{1}{218}$ 218. $\frac{1}{219}$ 219. $\frac{1}{220}$ 220. $\frac{1}{221}$ 221. $\frac{1}{222}$ 222. $\frac{1}{223}$ 223. $\frac{1}{224}$ 224. $\frac{1}{225}$ 225. $\frac{1}{226}$ 226. $\frac{1}{227}$ 227. $\frac{1}{228}$ 228. $\frac{1}{229}$ 229. $\frac{1}{230}$ 230. $\frac{1}{231}$ 231. $\frac{1}{232}$ 232. $\frac{1}{233}$ 233. $\frac{1}{234}$ 234. $\frac{1}{235}$ 235. $\frac{1}{236}$ 236. $\frac{1}{237}$ 237. $\frac{1}{238}$ 238. $\frac{1}{239}$ 239. $\frac{1}{240}$ 240.

6287

吳人第五關ノ三八ノD 文一

學地方議員加人事務

現況不明省消息圖書（昭和八年八月一日）

姓名	住所	職業	備考
大村 氏名		入籍書類	
河原丸 毎般水多美氏名		入籍書類	時技章
其の他			
昭和二年六月一日			

昭和二年六月一日

116

元海軍軍屬未復員者調查票

[illegible]

50

天九安慶 [redacted] [redacted] [redacted]
[redacted] [redacted] [redacted]

在名作或同義詞
喻意或同義詞

海防廳 以下 文度

此後年九月十六日
今日二月三日
約四月十日
各處均有代售
一在命中的順

卷之六

釋太願堂

21-07-05

1000

Chen et al.




第一号 號

滋賀縣民部局事務課第百廿三號

生存者 戦死者 確 認 報 告

十月十五日送付

報告者ノ當時ノ所轄(部隊名)

第五十一整備隊

報告者ノ官職氏名(電報符)

海軍上等兵 佐々木 昭

報告者ノ本籍地及ビ現住所

滋賀県彦根市 佐々木 昭

所轄官職氏名	電報符又は入籍番號	出身地	生存者ハハ職務区分年月日	場所	現狀	状況
上等兵	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
右兩名と五等兵	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
佐々木 昭	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
佐々木 昭	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
佐々木 昭	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
佐々木 昭	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
佐々木 昭	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
佐々木 昭	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
佐々木 昭	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	
佐々木 昭	佐々木 昭	滋賀県彦根市	死 七 月 八 日	増愛丸	確 実	

24.10.17

80-11

甲

現況不明者究明調書

(調査期日 10月17日)
(場所 山北世北)

姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名
五十一号			二様	[REDACTED]
出身府県	所管復員局	方	面	入籍部数・軍籍は陽造元
[REDACTED]	二・様・奥・佐(部)	千	島	[REDACTED]
申告事項	博愛丸に復員した北村三郎 20.8.8 戦死(博愛丸復員中北村島) 20.8.1 公報 210 部			
申告者	家族	住所	電話番号	氏名
	住	所	部隊等級	氏名
	[REDACTED]	[REDACTED]	五十一号	[REDACTED]
			二様	[REDACTED]
調査官	上記 [REDACTED] 氏は山北人として申告者の実弟に 確実性あり。			
調査官	[REDACTED]			
所見	[REDACTED]			

舞鶴地方復員務處理部

1. 本調書は甲表一、乙表三を調製する
2. 甲表……総べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可) 郵復人に送付する
3. 乙表……郵復人にて甲表により三過調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通(復員局経由)
4. 炭欄は郵復人で記入する

99-10

① 現況不明者究明調書 (調査期日 年 月 日) (調査場所 所)

三 三 六 號	姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名	
	61頁	51	警	上	曹	
	[Redacted]					
	出身府縣	所管復員局	方	函	入籍番號・軍屬扶養證元	
	[Redacted]	二重・横・奥・佐・	④			
舞鶴地方復員殘務處理部	申告事項	甲 2月18日 博愛丸で戦死				
	申告者	家族	住所	籍	氏名	
	復員者	住所	所	部隊等	氏名	
		[Redacted]	[Redacted]	少尉	[Redacted]	
昭和 十月 四日	調査官	世話 戦死の事と最理王崎				
	調査所 見入	2月18日 戦死 北千島 2月18日 公表 山崎				

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆書に可) 舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三編調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通(復員局無由) } 送付する
4. ※欄は舞復人で記入する

乙

現況不明者究明調書

(調査期日 12月12日) (場所 新潟市) (調査員 新潟市調査員)

姓名	部	隊	等級・身分	氏名
6/10	五	一	警	中
出身府縣	所管復員局	方面	入籍番號・軍局は照会	
二	横・奥・佐・田	千	島	
市	昭和21.6月3日自命同一部隊の第一高射隊であり は警二小隊自命は第一小隊であった 同年6月1日右隊の隊員小隊より一名死傷警二小隊の つた警二小隊の隊員は 同年6月6日青森縣田名部に到着して後入った情報に依り 現警二小隊の隊員は同年6月6日頃の便報(姓名不明)で 右隊の隊員と推定されたとある 自命の属していた第一小隊から現警二小隊の隊員は その時既に既に死に報告である 上記の通り隊員と推定されたとある(姓名不明)につき調査する 明瞭である			
家族	住	所	部隊	氏名
住	所	部隊	氏名	
調査官	中隊の通戦は確實と思われるが、中隊につき調査する			
無復員人	この為警二小隊は 推定と推定する			

新潟地方復員課務處理部

調査官 所見

1. 本調査は甲一、乙三を調査する
2. 甲一……總べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)無復員人に送付する
3. 乙三……無復員人にて甲一により三通調査
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同一世話課へ一通(復員局経由) } 送付する
4. 本調査は無復員人で記入する

甲

現況不明者究明調書 (調査期日 昭和18年12月18日)

氏名	姓	名	年齢・身分	職業	備考
田	五十一	雄	一	書	
出身府県	所管復員局	方	区	大連市・瀋陽市・長春市	
	三・横・奥・佐	②	4	島	
申告書	上巻 [redacted] ([redacted]) と同時 11 号北 12 113				
申告書	住所	所	職	氏	名
申告書	住所	所	職	氏	名
調査官	上巻 [redacted] 上巻 20. 6. 18 号北 12 113				
調査官	20. 1. 18 号北 12 113				
調査官	20. 2. 18 号北 12 113				

朝鮮地方復員務處理部

調査官 見

1. 本調書は甲第一、乙第三を調製する
2. 甲第一……總べて調査官にて記入し（船客にて可）卸復人に送付する
3. 乙第三……卸復人にて甲第一より三頁調製
 調査世話調へ一連
 所管復員局へ一連
 附 世話調へ一連（復員局経由） } 送付する
4. 本調書は卸復人で記入する

(調査期日) 7月7日

知縣地方復員殘務處理部

1. 本例番 甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號… 總べて調査官にて記入し（鉛筆で可）郵入に送付する
3. 乙號… 郵復入にて甲號により三通調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通（復員局経由） } 送付する
4. ※欄は郵復入で記入する

②

現況不明者究明調書 (調査期日 所 新 舊)

源	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏	名
	6/1頁	5/警	=	曹	[REDACTED]	[REDACTED]
三	出身府縣	所管復員局	方	面	入籍籍姓・軍属は照違元	
一	新 潟	二 級・機・吳・佐・	④	千 島		

歸人
氏名
實地所
姓
氏
名

申
告
事
項

の姓に某憶ある名は疑問あり
20-6-18博愛丸で戦死した等

中	家	住	所	職	氏	名
告	族					
者	復員者	住	所	前隊等級	氏	名
		[REDACTED]	[REDACTED]	上級曹	[REDACTED]	[REDACTED]
調	世					
査	話					
官	録					
所	復					
見	人					

※
7月
9日

5/16完了の後処理の事
印

1. 本調査は甲號一、乙號三と調査する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）歸復人に送付する
3. 乙號……歸復人にて甲號により三通調査
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通（復員局経由）
4. ※欄は歸復人で記入する

85

(調査期日) 7月19日
(場所) 長崎

60日五一警水長

元 德 興 縣 人 籍 番 號 軍 馬 拉 價 控 元

申
 下
 告
 支那の地引揚の爲()外三名と共に博愛社
 に便乗したか同日夜ノ敵艦の真雷攻撃に依つて死没し
 た
 救助されたる者ノ名アリしか此處に付居りかつたから海に投じ
 るのを思ふ
 下記ノ名記事同じ

三 = 市
 一 = 市
 二 = 市

家	住	所	職	柄	氏	名
族						
役員名	住	所	部隊等	職	氏	名
			工一 二	警		

何れも電信員や客に同一配置で勤務して居た為よく知合
て居る一組に便乗した上に救助されたから見て海没
確実と認む

課	
製	16) 上
所	
見	

- 本調査：甲表一、乙表三を調査する
甲表一……総べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵便入に送付する
乙表三……郵便入にて甲表より三通調査
調査世話課……一通
所管職員局……一通
同 世話課……一通（職員局経由） } 送付する
4. ※欄は郵便入で記入する

①

現況不明者究明調査書 (調査期日 10月19日)

姓名索引	部	隊	等級・身分	兵	名
65頁	五	衛	所隊一		
出身	府	縣	所管復員局	方	面
			二・横・奥・佐・(○)	千島	志
申告事項	10.6.18. 22.20 頃便乗東船博愛丸 敵艦の雷撃で 破損し沈没の際戦死した 同人は6号島 平岡崎衛所勤務者である				
家族	住	所	職	柄	氏 名
復員者	住	所	部隊等級	氏 名	
調査官	本人は衛所勤務者の消息は相対詳しいものと思はれ 當該調査では詳細な調査困難であるから詳報に於て人 派し調査せられたい				
見入					

舞鶴地方復員残務處理部

十月二十八日

1. 本調査書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三風調製
調査世話調へ一通
所管復員局へ一通
同 世話調へ一通（復員局経由）
4. ※ 添付は舞復人で記入する

105-10

現況不明者究明調書 (調査期日 9月7日 場所 長岡)

※ 三 三 九 號	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏名
	60頁	51	警	一機曹	[REDACTED]
三 三 九 號	出身府縣	所管復員局	方	面	入籍番號・軍属は張連元
	[REDACTED]	二復・横・型・佐・研			
録 地 方 復 員 後 務 處 理 部	申入	20.6.18. 博愛丸で戦死			
	告第				
	事				
	二號				
申入者	住	所	籍	氏名	
役員者	住	所	部隊等級	氏名	
	[REDACTED]	[REDACTED]	51警 少尉	[REDACTED]	
調査官	世話	戦死の事に要理更富の			
	話				
	課				
	所				
見	所				
	復				
	人				

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號一は總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號三は舞復人にて甲號一により三通調製
4. 調査世話課へ一通
5. 所管復員局へ一通
6. 同世話課へ一通（復員局經由）
7. ※欄は舞復人で記入する

117

現況不明者究明調書 (調査期日 7月 3日 場所 長岡)

※ 三三五 號	名簿索引		部	隊	等級・身分	氏名
	60 西		51 警	上	中	[REDACTED]
	出身府縣		所管復員局	方面	入籍番號・軍屬に派遣元	
[REDACTED]		二・横・吳・佐・田				
申 20.6.18 博愛丸で戦死						
離島地方復員業務處理部	中	家	住	所	職	氏名
	告	族	住	所	部隊等級	氏名
	者	復員者	[REDACTED]	[REDACTED]	51 警 少 尉	[REDACTED]
調査官 座見	調	世				
	査	話				
	官	談				
座見	座	見				
	座	見				
	座	見				

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）離復人に送付する
3. 乙號……離復人にて甲號により三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通
 同 世話課へ一通（復員局經由） } 送付する
4. ※欄は離復人で記入する

112-10

②

現況不明者究明調書

(調査期日 場所 6月29日)

※	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏名
三	60頁	5/	警	上	曹
六	出身府縣	所管復員局	力	面	入籍管段・軍団は原道元
號		二復・横・吳・佐	①	千	島
20.6.18 博愛丸で戦死					
舞鶴地方復員 残務處理部	申告人				
	申告事項				
	申告者				
	家族	住所	欄	氏名	
	復員者	住所	部隊等級	氏名	
			上機曹		
※	調査官				
7月	所見				
9日					

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……総べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三通調製
 調査官路頭へ一通
 所管復員局へ一通
 同 世話課へ一通（復員局經由） } 送付する
4. 添欄は舞復人で記入する

113

元海軍軍人未復員者調査票

省	又派 は遣 船元 名題	身 分	氏 名	生 年 月 日	(本 現 籍 住 所 地)
連絡番号	留守担当 者	職 柄	氏 名	現 住 所	
		長男		縣 市 郡 村 字	

家族の承知されている情況

本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	差出日附 () 年 () 月 () 日 部隊符號 () 受領年月日 () 年 () 月 () 日 検閲者印 ()	内地勤務の部隊名及場所	採用又は徴用年月日及部隊名 (船員は船名及船主)	志願、徴用、現地採用等の別	職名
その他本人に就いて發考になることを書いて下さい	其の他本人に就いて發考になることを書いて下さい	一、部隊長から何か通知がありましたか 二、艦長から何か通知がありましたか 三、其の他のところから何か通知がありましたか 以上より通知した人、氏名を導いて下さい	家族養受領の情況と徴用している選理部を書いて下さい	内所發地出發年月日、場下より所發地へ行く先がわかって下さい	司官、書記、書記、技師等の別を記入して下さい (工員)

帰還者からの情報（自分達の方では本欄に未だ確認者個人に對して記入して下さない）

未處理者個人に對する情報						歸還者の屬していた部隊の情報	
情報提供者	部隊	身分	氏名	この欄には所屬部隊の行動、戦斗状況（艦船事故ならその状況）を詳しく書いて下さい （特に場所、年月日を誤らさない様にして下さい）			
同右現住所							
入たからか本人とは何處で何時に何れの時分まで記し本誌にて公開せよ	昭和20年6月18日南都支隊中隊長として現地に赴いたものである						
徹夜者でしたらその状況を本欄に記入して下さい	死因 戦死 死亡年月日 昭和20年6月19日午後 死亡の場所 高峯村牛座 状況 米軍空襲直後銃弾に被弾し死亡						
行方不明ならばその状況を記入して下さい	原 因 / 年 月 日 / 場 所 /						
他に知る本人の消息をよめる方が住所氏名を記入して下さい							
備考	長岡力						

甲

現況不明者究明調査書 (調査期日 7月27日 場所 金沢市)

姓	名	索引	部	隊	等級・身分	氏	名
55	日	五十一	華	三	長		
出身府縣	所管機関局	方面	大府管区・軍管区	支隊	支隊		
	二・三・四・五	千	島				
申告事項	主長は組合員 / 日甲。十番隊九ノ東隊大連に 同大連のあつた片岡湾口航行中敵艦の雷撃に依り 沈没した所載記 組合は高船3。護衛艦1 (予知不明) の6月19日 名乗。連合を以て号し6月27日大連の。大連警備 隊に7月20日頃迄居る間、大連警備隊の70名の 隊員を率いて行進した (7月10日?) 此の連合は空襲 に依り大連を去る。						
申告者	家族	住所	国籍	氏名			
申告者	住	所	部隊	氏名			
調査官	世話課	大連の約30名の戦死者の木材を調査し、 利根町の36名の戦死者 (年復調査 5/ 警備隊情報に依り)					
調査官	所見	若しくは、大連の戦死者の調査に依り、 大連の戦死者の調査に依り、大連の戦死者の調査に依り、					

舞鶴地方機関員事務處理部

調査官 所見

1. 本調査は甲一、乙三を調査する
2. 甲一……總べて調査官にて記入し (鉛筆書にて可) 舞鶴人に送付する
3. 乙三……舞鶴人にて甲一により三層調査
調査世話課へ一層
所管機関局へ一層
調査世話課へ一層 (機関局経由) } 送付する
4. 本調査は舞鶴人で記入する

49-11

(調査期日 7月7日)

舞鶴地方復員殘務處理部

- 16340

1928

35344

張石著死傷戰隊信通十三第

者(見真)者(認現)

尉少部五軍海

18

[Redacted]

一、軍用 金 收 時 米 庫 = 押收

也 已 向 無

北 之 者 陳 部 = 押交 是 交 滿

之 記 寫 信 部

二、總 國 在 此 二 事 實 現

在 作 報 國 難 在 无 北 之 者 以 外

一、金 部 10-10-17 以 米 庫 創 外

二、新 部 10-11-10 以 米 庫 創 外

復 與 海 隊 定

三、本 知 部 職 之 部 北 確

認 者 1-2-11 在 好 一 晚 完 无 十 一

四、北 之 事 件 諸 部 感 其 金 部 交

是 市 交

五、大 債 部 以 獄 部 大 金 部 燒 部

大 債 部 以 獄 部 大 金 部 燒 部

同	38303	骨	(209.36)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38302	同	(209.20)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38301	上水	(209.14)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38300	機受	(209.5)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38299	水長	(209.5)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38298	並受	(209.4)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38297	同	(209.5)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38298	同	(109.1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38294	水長	(206.30)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38293	機受	(206.28)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38295	木長	(206.20)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
同	38296	同	(206.1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

227



九水報竹齋

38315	水長	(20-8-20)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38316	二骨	(20-8-23)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38317	水長	(20-8-25)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38318	同	(20-8-26)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38319	上水	(20-8-16)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38320	水長	(20-8-19)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38321	同	(20-8-25)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38322	同	(20-8-30)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38323	拵	(20-9-24)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38324	同	(20-9-8)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38325	同	(20-9-8)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38326	同	(20-9-11)	[Redacted]	拵	[Redacted]
38327	同	(20-9-13)	[Redacted]	拵	[Redacted]

九代新編

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

38336 38335

38337

38334

38333

38332

38331

38329

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

(20-818) (20-922)

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

死歿者調書

2-7-18
美

[illegible]

昭和二十年 七月十八日

31566

本籍地	現任所	所屬部隊	官等級	海軍	軍工作業
		第二面置隊第一〇二連附隊	官等級	海軍	軍工作業
			入籍番別		

備考

(一) 水調書ハ部隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復員局人事部長宛通報シテ非ズト認ムルニ付記載ス
 (二) 吳鎮在籍特務士官准士官下士官兵ニ付記載ス
 (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
 (四) 知得シムル範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細ニ記載ス
 (五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス
 (六) 送付先

吳市
吳地方復員局人事部長宛

274-10

本署地
現任所

所屬部隊

入園年月
報

官等組

戰地刊布年刊

勤勞
樸要

今病重傷三月

率病(受傷)又
戰死時、狀況

此三平言
所刻為所

右中書

度屋能運甚地或付イ知セ知セ知

昭十九年八月十五日

永年氏名

昭和二十年三月三日

百十一震詳其地險

熙寧二十年九月二日

高懸，金生食飯不能食身又弱。九月十二日，以四指半命張。咽至九月十五日，遺澤大在。受賜大。

昭和二十九年九月十二日午後四時

36562

機密第

璵

(15) (16) (17) (18) (19)

本調書以部院文及強弱數極者等。於吳地方復員局人事部
長宛通報。非不認。其時記載。吳鎮在將持客之官。准文官。下士官。兵。付記載。又
同於野人。勿論。也。村縣出身者。說。又記載。不
知得。範圍。於。出。來。得。之。限。之。詳細。之。記載。不
也。人。之。間。事。承。知。之。事。項。各。當。該。調。和。事。方。之。記載。
送。出。先。

興地方復員局又事部長宛

[illegible]

軍

海軍上藥五針片

[REDACTED]

[REDACTED]

服私年 月十七日

和ル島 伊予 伊豆
(大分 山口 福岡)

This is a scan of a blank page from a document. The paper has a light beige or off-white color with some minor texture visible. There are no markings, text, or illustrations on the page.

昭和三年七月五日敵軍駐り同時、第一大隊五中队
配属（中隊）
前線ニ在リテ糧食初増給、陣亡者ノ葬式、戦車
給食作業、挺身中、昭和三年七月十日中、心ヲ引ル
十科地帯ニ於テ不幸病歿（エウヤス）
ナリ、ハタシニ十科地帯野原病院ニ送付

35149

陸 年

是より四十八軒世果つて元々（地区）野嶽新松院へ後
述昭和三年四月十七日迄一軒松院に
加増親睦也

昭和三年六月二十一日

原稿

元嶽寺より書状

是地方復興局より人事課へ宛

元ノ水

右者昭和三年八月十日頃石島にて傳染病に
罹り同年八月十七日石島より青島に到りけ
二三日して死にたましき故昭和三年八月二十日午後
に死にたましき

子辰

昭和三年

病名

傳染

死之

昭和三年

私儀不在にて右通知あるに致し御許へ

香川縣

本回春に東へ出張

調査係殿

520.8.20

云時

佐世保地方復興務處理部

死 殁 者 調 書

本 籍 地

縣

鄉

村

番 地

現 住 所

縣

鄉

村

番 地

所 屬 部 隊

二。機。組。隊

機。組。隊

機。組。隊

機。組。隊

入 國 年 月

民 國

年 月 日

入 籍 年 月

民 國

年 月 日

官 年 級

水 長

生 年 月 日

入 籍 年 月

民 國

年 月 日

內地 港 澳 出 發 年 月 日

戰 地 出 發 年 月 日

勤 務 概 要

死 病 (受 傷) 年 月 日

病 名 (受 傷 部 位)

死 病 (受 傷) 年 月 日

死 病 (受 傷) 年 月 日

死 病 (受 傷) 年 月 日

卷二 五

氏	所屬部隊	現任所	本籍地
名	官職及部別		
	官等級		
	待遇及特典		

備考

本調書八部隊長又、殘務取扱者等吳地方復員局人事部長宛通報
不、貴仕者ニ於テ知得ニテ又上、認ムルモノニ付記載ス

吳鎮在籍，將務士官、准士官、下士官、兵丁什部氣不

王后府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
典知得テハ範圍ニ於テ出未得ニ限リ詳細ニ記載ス

シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス

卷之四

卷之四

證明書

不籍地
軍部内

海軍上幕僚部員

右者は出水海軍航空隊に昭和十九年五月同隊員第二十二分隊に志願兵として入隊し昭和十九年九月同隊員を退へ同月普通科整備係指揮官として第二十三分隊に入、同隊員中

昭和二十年一月一日同隊員病室に於て流行性脳膜炎のため死亡したる者なり。
(昭和二十年一月一日)

同隊員として第二十三分隊員第二十三分隊員と頭書人の教習

として勤務し又その者の死亡を葬同を立会ったる者なり

右諸者の出水海軍航空隊に在りて死亡したるものと

證明書

昭和二十年七月二十日

現住所

前住居所出水海軍少尉

現住所

①

現況不明者究明調書

(調査期日 7月7日 場所 鶴岡)

姓	名	部	隊	等	級・身分	氏
6/1	5/	警	水	長		
出身	県	河	管	局	方	面
		二	横	見	佐	千島
申	は自らの同年兵であり同じ水警隊(片岡)に居て親しい中である。所有物と一緒に持参しての地に向つたが、6/1の夜に中絶した。時生存者中から慰問を受ける。確かな戦死には違ひない。後で同僚の証言に片岡合同葬で中絶したと聞いている。					
家	住	所	姓	名		
住	所	部	隊	等	級	氏
		5/	警	水	長	
調査	戦後交還調査と認む					

1. 本調書・甲表一、乙表三を調製する
2. 甲表一、乙表三を調査官にて記入し(鉛筆書にて可)解復人に送付する
3. 乙表一、解復人にて甲表により三原調製
 - 調査世話課へ一通
 - 所管復員局へ一通
 - 同世話課へ一通(復員局経由)
 送付する
4. ※欄は解復人で記入する

現況不明者究明調書 (調査期日 新 月 日)

氏名	6/1 5/ 警 二 南	氏名	[REDACTED]
出身府縣	二 横・奥・佐・神	入籍番號・軍属は誠道元	
申告事項	如左. 18 博愛丸で戦死		
家族	住 所	氏 名	
復員者	住 所	部隊番號	氏 名
	[REDACTED]	上 蔵 中	[REDACTED]
調査官	申告事項の通り處理を可とする		

神島地方視察 陸務處理部

※ 7 月 9 日

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）調査人に送付する
3. 乙號……調査人にて甲號により三通調製
 調査官電話へ一通
 所管復員局へ一通
 前 世話課へ一通（復員局経由） } 送付する
4. 家欄は調査人で記入する

元海軍軍属未復員者調査票

未復員

連絡番号 5	又派遣元 元海軍	身分 軍人	氏名 [redacted]	生年月日 [redacted]	本籍 [redacted]	居住地 [redacted]
留守担当者 母	続柄 母	氏名 [redacted]	現住 [redacted]	所 [redacted]		
家族の承知されてゐる情况						
職名 司政官、砲兵、書記、技師等 の別を記入して下さい	採用又は徴用年月日 昭和三十九年八月三十日	採用及部隊名 (船員は船名及船主)	海外勤務の部隊名及 所勤務	本人からの最後の手に 就いて御記入下さい	内所 下 さい	17/10/27
志願、徴用、現地探 用等の別	家族受領の情况と 取扱つてゐる経緯 部を書いて下さい	一、部隊長から何か通知がありましたか 二、知がかりましたか 三、知がかりましたか 四、その他何か通知がありましたか 五、以上を記入して下さい				
未処置者個人に対する情報				帰還者の属してゐた部隊の情報		
情報提供者 山本 一 兵衛	部隊 山本 一 兵衛	身分 兵	氏名 [redacted]	この欄には所屬部隊の行動、機関状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日を換らさない様にして下さい)		
同右現住所 [redacted]	本人とは何時どこで何をしたか 昭和三十九年八月三十日 [redacted]			昭和三十九年八月三十日 [redacted]		
戦死者でしたらその 状況を本欄に記入し て下さい	死亡年月日 昭和三十九年八月三十日	死亡の場所 [redacted]	状況 戦死	昭和三十九年八月三十日 [redacted]		
行方不明ならばその 状況を記入して下さい	原 年 月 日	国 [redacted]	場所 [redacted]	昭和三十九年八月三十日 [redacted]		
他に 記入して下さい	[redacted]			昭和三十九年八月三十日 [redacted]		
備考 氏名変更昭和三十九年八月三十日 [redacted]						

66

光緒二十一年正月

本籍地

本籍地

記

右封仔湖今以政度假工現地信製書局
時有遺失者中并改不報告八提生極其一二
現作處極頻有復同收客部二於下書文以影就
者道過名錄一控一于老令六全向六八千五
力上存假其右一治才十二八官數十取計十七受

2117



新館地方復興會
事務部

28-12

6359

X



6830

2040

光復者調書 特准

本籍地	現任所	所屬部隊	入會日	軍事級	姓名	入籍地

姓名	入籍地

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

勳勞、概年

經理費

[illegible]

6333

現況不明者究明調書 (調査期日 昭和二十二年 場所 東京都)

三六〇	氏名	60 日 5/ 警 二 西	氏名	[REDACTED]
	出身府縣	所管復員局	方面	入籍番號・軍部は照査元
	[REDACTED]	二復・横・奥・佐・國	千 島	
舞鶴地方復員務處理部	申告事項	20. 6. 24 古守島 海に於て戦死 確證		
	申告者	家族	住所	氏名
	復員者	[REDACTED]	部隊等級	6/ 警
調査官 見	調査結果	申告者の言に相違なきものと見考す		
	備考	處理書類 (四)		

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……越へて調査官にて記入し (鉛筆書にて可) 歸復人に送付する
3. 乙號……歸復人にて甲號により三通調製
調査世務課へ一通
所管復員局へ一通
局 世話課へ一通 (復員局經由) } 送付する
4. 送附は歸復人で記入する

200-13

元海軍軍人未處理者調查書

管理番号	留呼担当者	姓	氏名	生年月日	入籍番号	本居地	居住地
		軍属					
		妹					

家族の承知されてゐる情况

本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	玄出日時（年 月 日） 部隊符號（ ） 受領年月日（年 月 日） 後附者印（ ） 内容	(一) 部隊長から何か通知がありましたか (二) 帰還者から何か通知がありましたか (三) 其の他の二つを何か通知がありましたか 以上ありましたら書き書いて通知した人の住所氏名を書いて下さい	その他本人の情况进行き
内地出發年月日、場所、乗船名、行先がわかりますので書いて下さい	前信ナシ		

歸還者からの情報（歸還者の方日本側に承知者個人に対すること）
自分の属しておた部隊の情報を入れて下さい

承知理者個人に對する商榷	歸還者の属してゐた部隊の情報
情報提供者 姓 氏名 入籍番号 軍属	この欄には所属部隊の行動、戦斗状況（艦船事故ならその状況）を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日を明かに書き込んで下さい)
同右現住所	昭和二十一年三月廿一日馬尾郡森久保に於て敵艦沈没撃破を遂げ戦死
本人とは何処で何時にか又別れる間の本状をどうするかを本欄に記載して下さい	現認者 是當時隊員として戦死を現認し
戦死者としたものの状況を本欄に記入して下さい	たうて 戦死を現認し
(死にかかったのなら病名を記入して下さい)	
行方不明な逃亡者はばその状況を記入して下さい	
他に本人の遺族をよめる方がおられる場合は記入して下さい	

昭和二十一年六月七日

特

6336

元第一海軍燃料廠支廠會計課長
元海軍主計少佐

是地ノ復員局人事部長殿

特務士官戦死行方不明状況報告

先般六月一日附タ以テ復員セラルル際第一海軍燃料廠タカシ支廠
及且日昨遺復員者
二階ノ下士官兵ノ戦死ノ事不明、モロタイ被銃送者名簿ヲ因取
總務課長員タリシ
技術大尉ニ貴部宛連絡提出ノエトモ依

頼致シ候處 特務士官ニ関スル未ダ状況報告セザリシ儘ト相成リ

居候三件報告致候

記

海軍中尉(戦死ノ階級)以下全シ

01614

昭和二十年六月二十八日米南ボルネオタラカン島及びブニール島間海上ニ於テ海軍艦艇ヲ機銃掃射ヲ受ケ、戦死ノ者ハ不明ニシテ漂流中ノ右ノ内中尉ト行動ヲ共に居リタル者ハ同ノ時還着シテ(工費)ノ活ニシテ又モロタイニ輸送セラルル者ノ海軍名簿ニ於テ戦死ノ非サリ、處ヲ考ヘ戦死ト認賞セラル可ト思フス、戦死ノ可能性九九%

海軍中尉

01615

昭和二十年六月六日南ボルネオタラカン島青葉山附近海行偵察ニ出発ノ際第三番陣地附近ニ於テ頭部貫通銃創ヲ受ケ戦死

6337

93-12

海軍兵曹長

[Redacted]

中尉

[Redacted]

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

海軍兵曹長

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

01616

昭和三年

六月二日

南ボルネオ

タラカン島

一三高地前

敵陣地夜

襲撃隊

敵自動銃

三挺

戦死

頭部

胸部

貫通銃創

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

海軍主計中尉

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

昭和三年六月二日南ボルネオタラカン島一三高地前敵陣地夜襲撃隊敵自動銃三挺戦死頭部胸部貫通銃創

16891

6338

28-13

010

海軍少尉

昭和三年六月二十九日 南浦ルオオウカノ島ニ於テ海軍捕虜
トナリモロタイニ輸送セラル、既ニ帰還済ナリ

海軍衛生兵曹長

少尉ニ全ク同じ

高道骨遺品ハ全ク無之、但シ遺骨ノ代リニモト思ヒ、タカモ島ノ砂ヲ
毎日海軍燃料廠カラシ支廠、我兵者一月ノ分トシテ、其後須臾有需品部
真下局員ニ遺骨名簿ト共ニ提出、既ニ置キ候

(終)

生存者
戰死者
確
認
報
告

報告者の所轄(部隊)

第五十一 警備隊

報告者の實氏名

二 養 育

報は石の本家 及現住け

祖考

以豐宜藏氏

名

入郭尋子云身地

生 好

1500	1500
------	------

現

2

張

1

現

五

21. 11. 1951

卷之六

張

6
20

Figure 1

۱۲۸

不

三

明

卷之四

3m (upst)



4



四洲藥房

20

11

10

7. *Journal of the American Medical Association*, 2000, 283: 2686-2692.

のちの事とて
廿五

乙

現況不明者究明調書 (調査期日 7月/2日)

※ 名簿索引	部	隊	等級・身分	氏名
一五八	60	五	警二曹	[REDACTED]
姓	出身府縣	所管復員局	方面	入籍番號・軍屬は原姓元
	[REDACTED]	二復・横・吳・佐・(株)	千島	微

中ノ人 第一號
 20-6 頃 白洋丸にて引揚り際 同船沈没の際 戦死 (確黄)

舞鶴地方復員残務處理部

家族	住	所	籍	氏名
復員者	住	所	部隊等級	氏名
	[REDACTED]		五-警二曹	[REDACTED]

世話課 白洋丸と共に海没した者と認む

所管復員局 戦死として處理する

※ 七月三十一日

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆で可) 舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號より三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通
 調査世話課へ一通(復員局經由) } 送付する
4. 案欄は舞復人で記入する

120

②

現況不明者究明調書

(調査期日 9月3日 場所 長岡)

三三三 號	姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名	
	60 頁 51 警 二 常				[REDACTED]	
	出身府縣	所管復員局	方面	入籍番號・軍屬は派遣元		
	[REDACTED]	二復・横・吳・佐(舞)				
舞鶴地方復員残務處理部	申告事項	20.6.18 博愛丸で戦死				
	申告者	家族	住所	籍	氏名	
	復員者	住所	所管復員局	氏名		
※ 十月 日	調査官	世話課 調査世話課へ一通 所管復員局へ一通 同 世話課へ一通 (復員局経由)				
	所見	舞永 龍之助				

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可) 舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三通調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通 (復員局経由) } 送付する
4. ※欄は舞復人で記入する

120-11

①

現況不明者究明調書

(調査期日 新 月 日 場所 新 町)

※	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏	名
二	10 頁	5/	警	二 機 曹		
二	出身府縣	所管復員局	方	面	入籍番號	軍属は元遺元
二		二 復	機	吳	佐	千 島
二	中 申 人 告 第 一 項 號 市 入 部 者 住 所 籍 柄 氏 名 住 所 部隊等級 氏 名 世 話 課 無 復 人					
二	※ 七 月 九 日 舞鶴地方復員殘務處理部 甲 告 事 項 の 通 達 理 可 と す					

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三通調製
 - 調査世話課へ一通
 - 所管復員局へ一通
 - 同 世話課へ一通（復員局經由）
 } 送付する
4. ※圖は舞復人で記入する

118

盤理番號

16P

長 28

の陳部

集賢堂

に際しては、

別錄

現況

自昭和九年十月二十日

報 供	情 提
昭 和	內 地 諸 君 年 月 日
年 月 日	

東	東
西	西

等	級	氏
		

名	入銅番號
---	------

現
住
所

既	知	事	項
一、佐世保人事 業務課資料	二、世話譚(科 資料)	三、家族(身密)	承知事項

一、(竹) 溫骨
回遺留品有無

(竹) 溫骨
回遺留品有無

是照全用

戰歿(行方不明)の場所 宮古外村高嶺
 戰歿(行方不明)年月日 辛酉九月廿二日
 戰歿(行方不明)の原因 遠征中
 戰歿(行方不明)時編入 五百番番付
 戦死(逃亡)した戦士部隊名 戦死

留守燭雪者

文



附錄

町大字 村

所轄（祥令年月日）
（西曆年月日）

賣	一	等
有	水	般

氏	氏
名	名
生	生

月日	入新番號
二	二

住	本
所	地

元海軍軍人現況不明者調書

終 結 時 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	組 乗 有 便 乗 便		船 艦 に よ る 事 故		現 況 不 明 者 と 同 一 行 動 の 別 別		行 動 の 現 況	
		一、艦船名 江ノ川丸 二、行 先 高松		三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 高松 昭和五年三月 (ロ) 寄港地及び年月日 高松 昭和五年三月 四、便乗者の所轄、軍人、軍服別数 照 一月 日		五、事故の原因及びその年月日 照 一月 日 (立腹、潜水艦、砲撃)		六、事故発生時の位置及び被害の状況 照 一月 日 七、救済の状況	
(公)	佐世保人事業務課にて判定	本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ	
(明)		本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ	
(不)	世話課(科)にて判定	本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ	
(生)		本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ	
復 員	昭和五年三月	本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ		本人の消息をよ	

大分

行の隊部 一、編成の時期及び場所(昭 年 月 日 於) 二、内地出撃の時期及び場所(昭 年 月 日 於) 三、進出要領		所屬部隊に關するもの (昭 年 月 日 於) 一、本人とは何處を何時迄一緒にいたか 二、その時の本		現況不明者個人に關するもの 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日		報告者 昭和 年 月 日	提供 内地歸還年月日	部 隊 等 南 部 隊 等	氏 名 氏 名	入籍番號	現 住 所	事項 一、位世保人事業務課資料 二、世話課(利)資料 三、家族(身寄)承知事項	知 照 一、位世保人事業務課資料 () 遺骨有無 () 遺留品有無 ()	既 知 一、位世保人事業務課資料 () 遺骨有無 () 遺留品有無 ()	留 守 協 助 者	所 籍 (特令年月日) 南 部 隊	等 級 氏 名 南 部 隊 長	生 年 月 日 入 籍 番 號	本 籍 地 縣 市 町 村 大字
---	--	--	--	---	--	----------------------------	--------------------------	-----------------------------	-----------------------	-------------	--------------	---	--	--	------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

元海軍軍人現況不明者調書

元海軍軍人現況不明者調書

52-41

終 結 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	個 人 の 事 務		船 上 の 事 務		現 在 の 状 況		戦 争 時 の 状 況		戦 争 後 の 状 況		戦 争 前 の 状 況	
		住 居 の 事 務	身 分 の 事 務	船 上 の 事 務	船 上 の 事 務	現 在 の 状 況	戦 争 時 の 状 況	戦 争 後 の 状 況	戦 争 前 の 状 況	戦 争 前 の 状 況	戦 争 前 の 状 況	戦 争 前 の 状 況	
(公)	佐世保人事務課にて判定	(明)	(不)	(生)	世話員(科)にて判定	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日

69041

本 人 未 回	現 在 本 人 不 明 時 間 考 察 現 在 本 人 不 明 時 間	申 告 者
死 後 現 在 死 後 現 在 死 後 現 在	本 籍 地 （ 現 住 所 ） 昭 和 三 十 年 七 月 下 旬	昭 和 三 十 年 七 月 下 旬
昭 和 三 十 年 七 月 下 旬	昭 和 三 十 年 七 月 下 旬	昭 和 三 十 年 七 月 下 旬

56-29

6348

答 欄

員の場の合

右の各員は、本合の場に在りて、

本合の場に在りて、最も、
 後に、
 本合の場に在りて、最も、
 後に、



本合の場に在りて、最も、
 後に、
 本合の場に在りて、最も、
 後に、

(註)

一 本合の場に在りて、最も、
 後に、
 本合の場に在りて、最も、
 後に、
 本合の場に在りて、最も、
 後に、
 本合の場に在りて、最も、
 後に、